

2014年10月8日
 一般財団法人 労務行政研究所

東証第1部上場企業の2014年年末賞与・一時金(ボーナス)の妥結水準調査

～年間協定による妥結済み企業では、対前年同期比4.6%増と3年ぶりにプラス～

民間調査機関の一般財団法人 労務行政研究所(理事長: 矢田敏雄 東京都港区東麻布1-4-2)では、東証第1部上場企業206社を対象に、「夏冬型」の年間協定ですでに決定している、2014年年末賞与・一時金の妥結水準を調査・集計した(2014年9月10日現在)。

調査結果のポイント

1. 平均金額: 206社の平均で70万9283円、対前年同期比で4.6%増加。2011年以来3年ぶりにプラスとなる[図表2～3]。産業別に見ると、製造業の同5.8%増に対し、非製造業では同0.4%減[図表1]
2. 平均支給月数: 204社の平均で2.34カ月[図表4]。同一企業で比較すると、67.2%の企業で前年より月数が増加

調査結果

図表1 2014年年末賞与・一時金の妥結水準集計(東証第1部上場企業206社)

<金額集計: 単純平均>

—2014年9月10日現在—

区 分	2014 年 年 末 妥 結					2013年年末	2014年夏季
	社 数	金 額	平均年齢	対 前 年 同 期 比	対前期比	実 績 額	実 績 額
	社	円	歳	%	%	円	円
全 産 業	206	709,283	38.1	4.6	0.4	678,278	706,564
製 造 業	162	733,792	38.2	5.8	0.0	693,647	733,600
水産・食品	15	771,083	36.9	2.1	0.2	755,225	769,567
織 維	5	597,829	38.5	5.2	0.6	568,262	594,324
紙・パルプ	8	571,250	40.2	3.7	0.4	550,625	568,750
化 学	22	801,512	37.4	2.4	△ 0.6	782,687	806,204
(医 薬 品)	(2)	(738,230)	(38.7)	(△ 9.6)	(△ 5.7)	(816,562)	(783,180)
ゴ ム	6	710,026	37.5	3.7	0.0	684,855	710,026
ガラス・土石	8	678,992	38.7	4.2	0.4	651,931	676,492
鉄 鋼	12	676,958	39.8	16.4	0.0	581,667	676,958
非鉄・金属	11	709,650	37.1	5.6	0.0	672,302	709,650
機 械	16	693,239	37.1	4.1	0.0	665,726	693,239
電 気 機 器	32	749,540	38.8	7.0	1.8	700,393	736,036
輸 送 用 機 器	22	806,424	38.5	8.1	△ 1.2	745,984	816,160
(造 船)	(2)	(677,693)	(36.6)	(2.3)	(△ 8.6)	(662,522)	(741,573)
(自 動 車)	(7)	(933,193)	(39.2)	(9.9)	(△ 3.4)	(849,093)	(966,479)
そ の 他 製 造	5	735,102	39.4	8.1	△ 4.3	680,266	767,881
非 製 造 業	44	619,045	37.6	△ 0.4	2.0	621,691	607,020
建 設	4	635,000	36.7	0.6	0.0	631,250	635,000
商 業	23	496,530	37.6	△ 1.3	4.2	503,025	476,399
陸 運	4	829,744	39.9	4.9	0.6	791,221	824,744
倉庫・運輸関連	2	725,150	34.3	△ 2.2	2.5	741,800	707,650
情 報 ・ 通 信	8	776,307		△ 1.7	0.0	789,786	776,308

[注] ()内の業種は、その業種における内数。△はマイナスを表す([図表2～4]も同じ)。調査・集計要領、その他注記事項は、次ページ参照。

【前ページ[図表1]について】

1. 調査・集計要領は、3ページ下方を参照。
2. 「商業」は卸売業、小売業。「情報・通信」には、IT関係のほか新聞、出版、放送を含む。なお、[図表1、4]の業種分類は、東洋経済新報社『会社四季報』をベースとしている。
3. 2014年年末妥結額の集計社数が1社の業種(ガス)等は、掲載を省略した(集計には含めている)。
4. 集計は、「2014年年末」「2014年夏季」「2013年年末」の3者の金額が把握できた企業についてのみ実施。また、年間協定で、妥結額が年間総額しかつかめない企業については、前年実績を基に夏冬の配分を試算し、集計に含めた。
5. 平均年齢は、原則として、労務行政研究所が行った2014年賃上げ妥結状況取材の際に把握した各社データを流用・集計したものの。

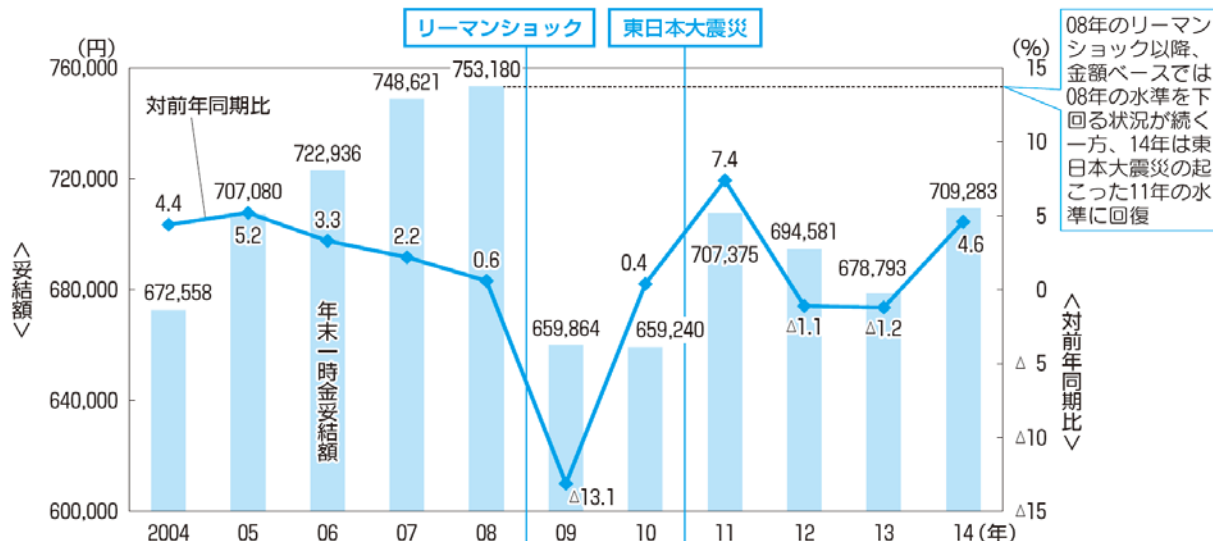
「2014年夏冬型年間協定ですでに決まっている年末一時金」の支給水準は、東証第1部上場企業の全産業ベース(206社、単純平均)で70万9283円、同一企業で見た昨年末の妥結実績(67万8278円)と比較すると、金額で3万1005円、対前年同期比で4.6%増加し、2011年以来3年ぶりに増額となった[図表2~3]。

図表2 賞与・一時金水準の推移(東証第1部上場企業、単純平均)

区分	春季交渉で決まった夏季一時金				年間協定ですでに決まっている年末一時金				<参考>賃上げ率		
	金額集計			月数集計	金額集計			月数集計			
	社	円	(%)	社	力月	社	円	(%)	社	力月	%
2005年	165	722,892	(5.2)	110	2.27	279	707,080	(5.2)	127	2.27	1.67
06	170	731,259	(3.7)	131	2.32	264	722,936	(3.3)	207	2.27	1.76
07	165	753,843	(2.2)	129	2.47	267	748,621	(2.2)	231	2.40	1.90
08	175	743,380	(0.9)	140	2.43	243	753,180	(0.6)	212	2.44	1.95
09	140	648,149	(Δ14.4)	123	2.03	218	659,864	(Δ13.1)	200	2.09	1.81
10	142	662,832	(2.4)	129	2.12	186	659,240	(0.4)	181	2.10	1.86
11	132	688,146	(6.4)	124	2.25	205	707,375	(7.4)	206	2.30	1.85
12	143	667,724	(Δ 0.5)	145	2.23	212	694,581	(Δ 1.1)	218	2.28	1.81
13	139	664,415	(Δ 0.6)	135	2.23	206	678,793	(Δ 1.2)	200	2.24	1.83
14	125	705,792	(5.7)	127	2.35	206	709,283	(4.6)	204	2.34	2.28

- [注]1. 上記は、春季交渉時決定分の夏季一時金集計、および春季~夏季交渉時の年間協定で一括決定している年末賞与・一時金集計の推移。なお、金額集計・月数集計は、それぞれ集計企業(社数)が異なるため、対応しない。また、データは各年の集計時点のものなので、2014年夏季、2013年年末の数値は[図表1]と一致しない。
2. ()内は対前年同期比であり、各年の集計対象企業のうち、前年同期と比較できる同一企業につき伸び率を算出したもの。よって、当年・前年の各金額集計(妥結額)を比較しても、伸び率は一致しない。
3. <参考>賃上げ率は、経団連による大手企業の最終集計(加重平均)。

図表3 年末賞与・一時金水準の推移(東証第1部上場企業、単純平均)



図表4 2014年年末賞与・一時金の支給月数および2013年実績との比較

<月数集計：単純平均>

－2014年9月10日現在－

区 分	2014年年末妥結			2013年	2014年	2014年		2013年		2014年年末・		
	社 数	平均 月数	平均 年齢	年 末 平 均 月 数	夏 季 平 均 月 数	年 末 妥 結	年 末 妥 結	年 末 実 績	年 末 実 績	2013年年末・	2013年年末の差	2013年年末の差
				力月	力月	力月	力月	力月	力月	力月	力月	力月
全 産 業	204	2.34	38.0	2.24	2.33	3.40	0.60	3.40	0.58	0.10	0.00	0.02
製 造 業	162	2.41	38.1	2.29	2.41	3.15	1.16	3.38	1.16	0.12	△0.23	0.00
水産・食品	13	2.41	36.2	2.34	2.42	3.06	1.70	2.86	1.70	0.07	0.20	0.00
織 維	5	2.05	38.5	1.95	2.04	2.61	1.19	2.46	1.18	0.10	0.15	0.01
紙・パルプ	7	2.07	39.8	1.99	2.06	2.77	1.50	2.66	1.25	0.08	0.11	0.25
化 学	22	2.55	37.3	2.52	2.57	3.15	1.50	3.07	1.72	0.03	0.08	△0.22
(医薬品)	(3)	(2.49)	(37.8)	(2.66)	(2.59)	(2.70)	(2.27)	(3.00)	(2.26)	(△0.17)	(△0.30)	(0.01)
ゴ ム	7	2.56	37.7	2.50	2.56	2.77	2.32	2.75	2.25	0.06	0.02	0.07
ガラス・土石	9	2.46	38.2	2.36	2.45	3.02	1.87	2.56	2.00	0.10	0.46	△0.13
鉄 鋼	12	2.25	39.8	1.92	2.25	2.62	1.16	2.57	1.16	0.33	0.05	0.00
非鉄・金属	11	2.39	37.1	2.29	2.39	3.00	1.50	2.95	1.40	0.10	0.05	0.10
機 械	15	2.36	37.1	2.30	2.36	2.85	1.90	2.78	1.63	0.06	0.07	0.27
電 気 機 器	30	2.34	38.8	2.21	2.29	2.94	1.50	3.38	1.33	0.13	△0.44	0.17
輸 送 用 機 器	25	2.64	38.5	2.48	2.66	3.07	1.86	2.92	1.87	0.16	0.15	△0.01
(造船)	(2)	(2.33)	(36.6)	(2.30)	(2.57)	(2.81)	(1.86)	(2.59)	(2.00)	(0.03)	(0.22)	(△0.14)
(自動車)	(11)	(2.81)	(38.8)	(2.60)	(2.86)	(3.00)	(2.55)	(2.92)	(2.15)	(0.21)	(0.08)	(0.40)
その他製造	5	2.33	39.4	2.18	2.45	2.46	2.00	2.40	2.00	0.15	0.06	0.00
非 製 造 業	42	2.06	37.6	2.05	2.03	3.40	0.60	3.40	0.58	0.01	0.00	0.02
建 設	4	2.12	36.7	2.09	2.12	2.29	1.95	2.24	1.97	0.03	0.05	△0.02
商 業	24	1.78	37.7	1.80	1.70	3.03	0.60	2.43	0.58	△0.02	0.60	0.02
陸 運	5	2.34	40.0	2.23	2.32	2.75	1.56	2.69	1.38	0.11	0.06	0.18
(私鉄)	(2)	(2.38)	(41.6)	(2.25)	(2.38)	(2.75)	(2.00)	(2.50)	(2.00)	(0.13)	(0.25)	(0.00)
倉庫・運輸関連	3	2.36	34.3	2.39	2.36	2.50	2.10	2.60	2.10	△0.03	△0.10	0.00
情 報 ・ 通 信	4	2.94		2.86	3.11	3.40	2.50	3.40	2.20	0.08	0.00	0.30

[注] 1. 2014年年末妥結月数の集計社数が1社の業種(石油、鉱業、ガス)は、掲載を省略した(全産業計、製造業計、非製造業計はこれらを含んだ集計値)。
2. 集計に当たっては、各社(組合)公表による1人当たり平均月数を足し上げ、集計社数で除した(単純平均)。

調査・集計要領

- ①集計対象・集計社数：対象は、東証第1部上場企業(10月2日現在で1837社)のうち、原則として労働組合が主要な単産に加盟している企業。持ち株会社が東証第1部上場企業の場合、その主要子会社は集計対象とした。このうち、2014年春季交渉時、もしくは同年夏季交渉時に、“夏冬型”年間協定により、すでに2014年年末賞与・一時金を決定している企業(組合)で、当研究所が結果を把握し得た206社(月数集計は204社)を集計
- ②集計対象範囲と集計方法：集計対象範囲は原則、組合員1人当たり平均(一部の年齢ポイント、標準労働者、全従業員平均による妥結額も集計に含む)。集計に当たっては、各社の1人当たり平均を足し上げ、集計社数で除した(単純平均)
- ③集計時点：2014年9月10日(調査時期：2014年3月12日～9月10日)

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

労務行政研究所 編集部 前田、嶋、武田 TEL:03-3585-1300(編集部直通)
※本調査の詳細は『労政時報』第3875号(14.10.10)で紹介しています。

一般財団法人 労務行政研究所の概要

設 立 1930年7月 (2013年4月、一般財団法人に移行)
理 事 長 矢田 敏雄
事業内容 ①人事・労務の課題解決メディア『労政時報』の編集
②労働関係実務図書の編集
③人事・労務管理に関する調査
住 所 〒106-0044 東京都港区東麻布1-4-2
U R L <http://www.rosei.or.jp/>